

学校の教育目標 人間としての調和がとれ、心身ともに健康で、主体的に学ぶことができる児童の育成を目指し次の目標を設定する。 (育成を目指す資質・能力) ◎ やさしい子(友達と仲よくし、友達も自分も大切にすること) ○ たくましい子(最後までやり通す) ○ まなびあう子(友達と協力して学ぶ)															
目指す学校像(ビジョン・ミッション) 「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」 自分の居場所がある(自己有用感) やり逃げたい工夫してみたいことがある(自主自学) 明日、やってみたいことがある(見通し・意欲)															
【目指す学校像】			【目指す教師像】			【目指す児童・生徒像】			【その他 特記事項】						
①児童にとって、毎日が楽しい学校 ②保護者・地域にとって、安心と信頼のある学校 ③教職員にとって、働く喜びにあふれた学校			①豊かな人間性をもち、かつ常識のある教師 ②子供を大切に、共に成長する教師 ③専門的な知識をもち、さらなる向上心をもつ教師			①思いやりがあり、友達も自分も大切にすること ②主体的に学び、自分を成長させる児童 ③体も心も健康で、明るく元気な児童									
領域	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	取組指標(教職員の取組)	取組自己評価				成果指標(児童・生徒等の姿・成果)	成果自己評価				分析・改善策	
					6月	11月	2月	評語		6月	11月	2月	評語		
学習指導	・確かな学力を身に付ける教育の推進	・基礎学力の定着の徹底を図る。 ・ICT機器を活用した個別最適な学びの充実を図る。 ・特別支援教育を意識した学級経営・学習指導を行い、全ての児童が安心して学べる環境を整える。	東京ベーシックドリル、東村山国語算数基礎ドリルを活用する。	教職員アンケートにおいて、「効果的に活用できたか」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%		基礎学力の定着度を東京ベーシックドリルの診断テストの平均点で把握する。	目標達成	60点	70点	80点	
			導入されたタブレットPCを日常的に活用する。	教職員アンケートにおいて、「タブレットPCを日常的に活用できたか」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%		児童アンケートにおいて、「タブレットPCを使うことで、自分の力に合わせた学習を行うことができた。」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%	
			全教室・授業において、ユニバーサルデザイン化を図る。	自己申告と授業観察を通して、ユニバーサル化が図れている学級・指導書の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%		児童アンケートにおいて、「授業は分かりやすく、楽しく学んでいる。」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%	
生活指導・進路指導	・豊かな心と社会性を育む教育の推進 ・心も体もたくましい児童の育成を図る。	・いじめ等の未然防止・早期解決に努める。 ・気持ちのよい挨拶のできる児童の育成を図る。 ・心も体もたくましい児童の育成を図る。	年間3回の生活アンケートや5年生のSCとの全員面談を活用したいじめの早期発見と、全校体制での解決を推進する。	教職員アンケートにおいて、「いじめの未然防止・早期発見・対応を組織的に推進したか」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%		保護者アンケートにおいて、「学校は、いじめの未然防止や早期対応に努めている」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%	
			毎月28日の「ふふふ挨拶デー」における地域と協働した挨拶運動をはじめ、日常的に挨拶を奨励する。	教職員アンケートにおいて、「挨拶のできる児童の育成に積極的に取り組めたか」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%		児童アンケートにおいて、「自分からすすんであいさつをしている」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%	
			体育の授業の充実、休み時間の意図的な体力向上を図る。	教職員アンケートにおいて、「体育の授業の中で、体力向上をねらいとする活動を意図的に取り入れたか」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%		児童アンケートにおいて、「体を動かすことが好きで、すすんで運動に取り組んでいる」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%	
学校運営	・保護者・地域との信頼関係に基づく協力体制の構築	・学校・学年・学級の経営方針や教育活動を保護者・地域に丁寧に伝え、連携協力を行う。 ・地域や関係機関との連携を図り、人的資源の活用を促進する。	ホームページによる速報性のある情報提供や学校だより・学年だより等による定期的な情報発信を推進する。	ホームページの更新が週1回以上できたかを把握する。	目標達成	100%	100%	100%		保護者アンケートにおいて、「ホームページや学校からのお知らせで、学校の取組が分かる」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%	
			新型コロナウイルス感染症防止ガイドラインに則して、学校公開や行事の公開を行う。	年間の予定に従って実施し、予定通り実施できたものの割合を把握する。	目標達成	100%	100%	100%		保護者アンケートにおいて、「学校公開や行事を通して、お子さんの様子が分かる」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%	
			学校運営協議会や地域、関係機関と連携した教育活動を充実させる。	地域の人材、教育資源を生かした授業を実施した学年の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%		児童アンケートにおいて、「地域の方などから教えてもらい、楽しく学ぶことができた」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%	
特別活動・その他	・学級活動、児童会活動、学校行事等を通して、児童の主体性の育成 ・いのちとこころ教育の推進 ・持続可能な社会の担い手づくり	・感染防止に留意した上で、児童同士のかかり合いを大切にした活動を推進する。 ・自分も友達も大切にする人権感覚の育成を図る。 ・日頃から、SDGsの視点を意識した教育活動の推進を図る。	異年齢集団活動である「にじいろ班活動」の取組を充実させる。	教職員アンケートにおいて、「にじいろ班活動のねらいを達成できたか」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%		児童アンケートにおいて、「にじいろ班活動で、違う学年の友達と協力して、楽しく活動できた」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%	
			全校朝会の校長講話や担任による学級指導で「人権教育」について扱ひ、また、「人権」に関する道徳の授業を実施する。	教職員アンケートにおいて、「人権」に関する講話は毎月、「人権」に関する道徳授業は学期に1回以上実施したか把握し、達成している学級数の割合で評価する。	目標達成	60%	80%	100%		児童アンケートにおいて、「友達も自分も大切にしている」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%	
			教科や取組の指導において、SDGsの視点を紹介したり、気付かせる活動を取り入れる。	教職員アンケートにおいて、SDGsと関連させた授業を学期に2回以上行ったかを把握し、達成している学級数の割合で評価する。	目標達成	60%	80%	100%		児童アンケートにおいて、「自然環境を大切にしたり、身近な節約をしている」という評価項目を設定し、肯定的な評価の割合で把握する。	目標達成	60%	80%	100%	

前年度の学校評価を活かして、4月時点でビジョン・ミッション、各目指す像、特に重点となる各目標、方策、指標を設定する。提出時期に応じて、その時点での達成度を%で自己評価欄に記入する。自己評価の評語は最終段階で、目標の5割未満はC、8割未満はB、10割未満はA、目標超えはOの評語を記入する。